

8月是人権尊重社会を 目指す運動強調月間です

深谷市では、郷土の偉人
洪沢栄一翁が生涯にわたつ
て実践した「忠恕」の精神
を「人権が尊重される住み
よい深谷市づくり」に市を
挙げて取り組んでいます。
忠恕「まごころ」と
おもいやりの心
下手計の鹿島神社境内の大
ケヤキの根元から「神水がわ
いており、その近辺に村人の
共同の風呂場があったそう
です。ご神水なのであらゆる
病気が治ると評判でした。そ
こに、ハンセン病を患って
いる雪さんも風呂に入り
ました。村の人は、雪さん
の病気がうつると嫌がりま
した。ところが、洪沢栄一
の母さんのエイさんは、雪
さんと一緒に風呂に入り背
中を流してあげたそうです。
また、雪さんが作って持
ってきた、ぼた餅を一緒に
食べたといわれています。
栄一は、ライ予防協会の
初代所長を務めました。母
のまごころとおもいやりの
影響を強く受けたといわれ
ています。



【青い目の人形を抱く栄一翁】

人権啓発フェスティバル
「ヒューマンフェスタ2007さいたま」

とき 8月22日 午前10時～午後4時40分
ところ 大宮ソニックシティ

内容 人権講演会（アグネス・チャン）、「狩人」
コンサート、人権落語（桂七福）、映画上映会、
人権啓発展、人権相談、郷土芸能公演（和太鼓
演奏）ほか

参加料 無料

お問い合わせ 県総務部人権推進課（048-830-2256）へ

人権が尊重される 住みよい 深谷市にしましょう

外国人への偏見
言葉が違う
肌の色が違う
習慣が違う

外国人の人権 異なった文化や習慣を認めよう

【違いを認めよう】
我が国の国際化はますます進み、いろいろな国の人たちと接する機会が増えてきました。国籍や肌の色に偏見を持っていませんか。文化や生活習慣の違う人と接して、豊かな国際感覚を育てましょう。

障害者への偏見
あんなことができない
親のしつけが悪い
職業が違う

ノーマライゼーションの推進

【共に生きる社会に】
身体的な障害がある人や知的な障害がある人を哀れんだり、避けようとしたことはありませんか。「哀れむこと」と「おもいやること」は同じではありません。洪沢栄一翁は、障害者や病気で苦しんでいる人たちと共に生きる社会をつくらうと努力しました。

高齢者に対して
ご飯をこぼす
動作が遅い
物忘れが多い

高齢者の人権

高齢者の生き方を尊重しよう

【敬意を払いましょう】
高齢者は、日本の発展を支えてきた人生の先輩です。豊かな人生経験で優れた知恵を持っています。上のような理由で、邪魔者扱いしていませんか。年齢に関係なく、お互いの考え方や生活習慣を理解し、人生の先輩として生きていく知恵を学ぶことが大切です。

【まごころとおもいやりの心を】
HIVの感染、ハンセン病患者、犯罪の被害に遭った人、罪を犯してしまった人への差別があります。
まごころとおもいやりの心で接しましょう。

そのほかの人権問題

【間違った考え方】
人種や民族が違う
宗教が違う
職業が違う

同和問題

心に偏見はありませんか

【正しく理解しましょう】
みんな同じ日本人です。江戸時代の封建社会でつくられた身分制度に由来するもので、その制度が廃止された後も、生まれた場所だけで、結婚や就職などいろいろな面で、基本的な人権が侵害されているという重大な社会問題です。

**【男女の役割の固定化を
見直してみませんか】**
男は仕事、女は家庭
男が先で女は後
炊事・洗濯・育児は女

女性の性差を尊重し男女共同参画社会へ

【性差を尊重して男女共同参画社会へ】
いまだに、女性に対する差別や偏見、性別による固定的な役割分担などが見受けられます。
家庭をはじめ職場や社会全体で男女の性差を生かす仕事配分や、女性の活躍しやすい環境づくりに努めましょう。